

家譜を探す

1. 家譜とは

家譜は琉球王国時代に士族が作成した家系に関する記録です。中国や日本にも家系図を作成する習慣はありますが、琉球の家譜は王府の命により作成された公的な記録であったという点に特徴があります。唐名の姓を冠し「〇〇姓家譜」「△△氏家譜」といった標題で作成されました。沖縄本島では1689年、先島では1729年、久米島では1758年に家譜の編集が開始されています。家譜は2部作成され、1部は琉球王府の系図座（先島・久米島は在地の役所である蔵元）で保管し、もう1部は王府の認可を示す朱印が押印されたのち、各家で保管されました。また、5年に1度追加事項の加筆が行われ、再認可を受けることで情報をアップデートするしきたりとなっていました。なお、「姓」と「氏」は厳密には違いがありますが、沖縄ではほぼ同義として使用されています。

2. 家譜について知る

『沖縄大百科事典 上』沖縄大百科事典刊行事務局編、沖縄タイムス社、1983年 【K03/O52/1】
「家譜」の項（747～748頁）、「姓（うじ）」の項（286頁）

『沖縄県姓氏家系大辞典』沖縄県姓氏家系大辞典編纂委員会編、角川書店、1992年 【K288/O52】
沖縄県の姓氏の特徴 姓氏と家譜
「第二部 姓氏編」それぞれの姓の主な分布地域、代表的な家系についての説明がある
資料編
「沖縄県家譜一覧」「家名氏（うじ）名対照表」「名乗頭・氏（うじ）名・家名対照表」

『沖縄門中大事典』那覇出版社、2001年 【K288/Mi88】
第二編 門中早わかり
第一章 士族早わかり…士族、家譜、門中について解説あり
第二章 家譜のあらまし…各姓について解説、家譜の抄録あり
第三章 門中先祖の足跡…代表的な人物について氏（うじ）名をあげて解説
第四章 門中の元祖がわかる…名乗頭から氏（うじ）名を知ることができる
第五章 分家の系祖がわかる…家名から氏（うじ）名・名乗頭を知ることができる

『沖縄の家譜』（沖縄県文化財調査報告書；90）沖縄県教育庁、1989年 【K288/O52】
沖縄県教育庁文化課が昭和60年からの4年間に県内所在の家譜を悉皆調査した報告書

- 『沖縄近世史の諸相』（田名真之著、ひるぎ社、1992年） 【K205/D35】
- 『士族門中家譜』比嘉朝進 編著、球陽出版、2005年 【K288/H55】
- 『首里王府と八重山』新城敏男著、岩田書院、2014年 【K25/SH63】
- 『宮古の系図家譜』（宮古島市史資料；2）宮古島市教育委員会、2009年 【K24.01/Mi76/2】

3. 家譜を探す

家譜は士族のみが作成を許されていたため、すべての門中が家譜を持っているわけではありません。また、系図座で保管されていた家譜が沖縄戦で焼失しただけでなく、門中や家庭で保管されていた家譜も長い時を経て散佚してしまったものも多く、調べたい家譜が現存していることは稀です。

①那覇市歴史博物館（那覇市史）の資料を調べる

現存している家譜については、複製を中心に最も多く収集・保存しているのが那覇市歴史博物館（那覇市史）で、約700冊を所蔵しています。那覇市歴史博物館は、系図座に保管されていた家譜の総目録である「氏集」を活字化して刊行しているため、まずは調べたい家の家譜が存在していたかどうかを「氏集」で確認します。現存し、かつ那覇市史が収集したものには目録リストに記号が付されているので、那覇市歴史博物館にて閲覧することができます。また、『那覇市史』の資料編第1巻6～8に翻刻が収録されている分は図書館等で閲覧できるほか、インターネットで「沖縄の歴史情報 琉球家譜」からもテキストデータで読むことができます。

那覇市歴史博物館（那覇市史）出版の家譜関連書籍

- 『氏集 増補改訂版』那覇市市民文化部歴史博物館編・発行、2008年 【K288/N27】
 ※これまで何度か改訂されており、黄色の表紙の冊が最新
- 『那覇市史 資料篇 第1巻6 家譜資料（二）久米村系』【K23/N27/1-6-1、1-6-2】
 那覇市企画部市史編集室編集・発行、1980年
- 『那覇市史 資料篇 第1巻7 家譜資料（三）首里系』 【K23/N27/1-7】
 那覇市企画部市史編集室編集・発行、1982年
- 『那覇市史 資料篇 第1巻8 家譜資料（四）那覇・泊系』【K23/N27/1-8】
 那覇市企画部市史編集室編集・発行、1983年

② 図書館の蔵書を探す

県立図書館所蔵分については、ホームページの蔵書検索、館内の蔵書検索機で検索できます。県内の公共図書館・大学図書館の蔵書は、県立図書館ホームページの「みーぐるぐるサーチ（沖縄県図書館横断検索）」で一括検索できます

ヒント ○○氏・○○姓のどちらでも検索してみましょう

4. インターネット情報

那覇市歴史博物館

<http://www.rekishi-archive.city.naha.okinawa.jp/>

2025年3月にデジタルミュージアムがリニューアルされ、一部家譜の画像閲覧・ダウンロードが可能になりました。3-①で紹介した那覇市歴史博物館所蔵の家譜の検索をする際にも有用なサイトです



筑波大学図書館「沖縄の歴史情報 第5巻」

<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/limedia/dlam/B95/B952218/1/vol05/5-6.htm>

『那覇市史』の家譜のテキスト検索・閲覧ができます



<オンライン講座>

「琉球の系図・家譜——その成立と特徴——」（講師：田名真之、再生時間 01:32:02）

琉球の系図・家譜の成立とその特徴について、わかりやすく解説しています。

動画はまなびネットおきなわ (<https://www.lll-okinawa.info/remote/>) にて視聴することができます
(利用者登録が必要です)